

R6年度 「DX アクセラレータ事業」 業務委託に係る企画提案競技（コンペ方式） 審査基準

■審査方法と事業経費の評価について

- ・下記評点結果と事業経費による加減算を用いたドント方式にて最終的な選定判断を行う。
- ・各提案者への（保留も含めた）枠配分の度に事業経費を加味して再計算し、配分するものとする。
- ・事業経費の計算については、1支援先の単価として180万円を基準とし、1支援先当たりの単価が基準より低ければ1%につき2点加算、高ければ1%につき2点減算し配分する。なお、支援可能数以外の単価については基準値と想定し配分し、保留として扱う。

項目	内 容	得点配分	
事業内容	【伴走支援業務 DX推進適正】 ●DXアクセラレータの伴走支援業務について必要となる知見や体制を有しているか ●併走感を持続させるため支援者に対する積極的なアプローチがかけられるよう工夫されているか。 ●「自走できる環境」について具体的なゴールイメージを描けており、応じたKPIの設定になっているか ●過去の実績を踏まえ、伴走可能な対象案件の範囲、支援内容が具体的に提案されているか ●提案の内容について実現可能性を有しているか	25	65
	【伴走支援業務 プロジェクト管理適正】 ●提案内容がプロジェクトを円滑に回すことができるツール、推進体制が整っているか。 ●支援先、支援側、DX・スタートアップ推進室とのコミュニケーションツールは適正なものを使っているか。（チャットツールが望ましい）	15	
	【事例執筆業務】 ●本業務に関わる体制を有しているか ●提案の内容について実現可能性を有しているか	15	
	【スマート化センター等との連携業務】 ●スマート化センター等との連携できる体制を有しているか ●提案の内容について実現可能性を有しているか	10	
独自活動	●本事業の目的や成果目標を実現ために、提案者の強みを生かした独自の活動を行うことができるか ●独自の取組内容について実現可能性を有しているか	20	20
実施体制（人材適正）	●事業運営に関する実施体制は適正か ●伴走する人材、事例執筆する人材は適正か ●複数支援先を希望している場合に、実施体制として問題ないか	15	15
事業経費	●上記項目を審査員の評価対象とし、事業経費については別途加減する。	別途加減	別途加減
合 計		100	100